

MACHI-KADO

Vol.16 静岡文化情報
街かど

路地裏散策

駒形界隈

This is the Komagata street.

駒形通りウォッチング・マップ

駒形通り今昔
あの日あの時

文:小川孝太郎



街の歴史[駒形]

二丁町物語

職人の街 [駒形]

下駄

Information

静岡市文化振興財団 イベント情報

静岡アートギャラリー

静岡音楽館AOI

芹沢銈介美術館

児童会館



り駒
形通
今昔

昭和10年頃駒形通四丁目(羽衣市場)



戦前のカフェ マル(現ウオチョーの辺り)

あの時 あの日 駒形通り

文
小川孝太郎氏
(駒形通二丁目在住)

徳川家康が隠居の地と定めた駿府の街の都市計画は、はなはだ合理的と言われている。

ただ私たちの現・駒形界隈(ほぼ常磐公園背面から安倍川まで)は残存豊臣勢の攻撃に備えての合戦の場と想定したらしく、ところが合戦も無く手つかずのまま放置されていたらしい。二丁町遊廊(現・地震防災センター辺)は余りにも有名だが、この大門が東海道(現・新通)に面し、後ろが駒形界隈で、廓で遊び足りない男たちの為の飲屋やあいまい宿がここに増える。まさにそれゆえにこの辺りは、ひと時代、駿府＝静岡市の吹き溜まり地域の態をなしていた程だ。

が、堅気の商人たちや腕のいい職人衆も、はじめは遠慮勝ちに

ここに店や仕事を構え、やがてその勢力を増し、しっかり根をおろしていったのも確かだ。

昭和六年、七間町と駒形界隈のメインストリートが安立寺の移転を機にドッキング。高い一本松で有名な駒形神社の名をもらって駒形通りが誕生。界隈はここではじめて静岡市に編入することになった。

当時、市にまだ少なかった歩道や街路樹を駒形通りに設け、市は新しい地域をなおざりにしていない面を示してくれた。

戦前、私の子供の頃、駿府公園にあった歩兵三十四連隊の兵隊さん達は隊伍を整え軍歌を歌い、疲れた体をひきずるようにして、安倍川からの演習帰りに駒形通りを通る。今ならトラックの馬

力の車もよく通った。重い荷を引いて歩く馬を私たちは声援したものだ。通りに面した広場があり、そこに大相撲がかかり横綱『照国』が取り組みを見せた。そしてどこかに当時まだ珍しい民間のテニスコートがあったのを覚えている。映画がはねると観客のかなり大勢の部分がぞろぞろ駒形通りを歩いて帰る。駒形通りは夜いっとき目抜き街となる。戦災の焼跡へいち早く公営の鉄筋アパートが出来たのも駒形の筈だ。

さて、現代、駒形通りの食材業者の商店街の賑わいはどうだ。おとなしいと言われる静岡市民のおとなしからざるエネルギーが凝縮させてここにある。まことに壮観と言える程だ。

したがって食材業者ならざる商店も元気が出ようというものである。



昭和10年駒形交番横の提灯屋



戦中の駒形神社



昭和初期 駒形の子供たち



昭和初期 消防団第二分団



戦中の駒形消防隊



戦前の新通小学校土俵こけら落とし

看板あれこれ

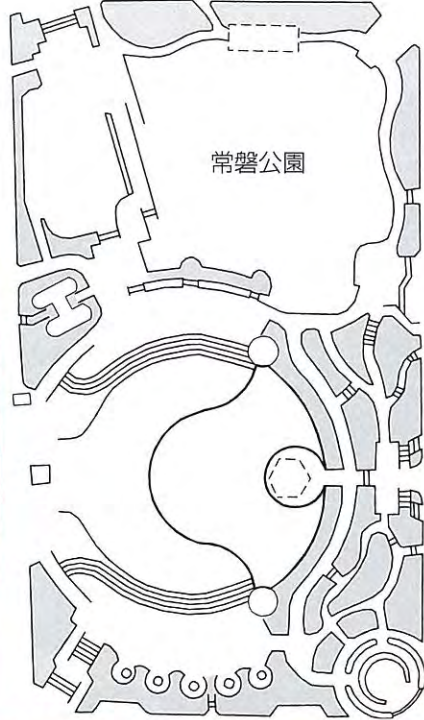
駒形通りの看板はなかなか味わい深い。現在も店をアピールしている看板はもちろん、店はずでにたたんでしまったのに、看板だけが残って、昔の姿をひそかにアピールしているもの…。

看板の中に駒形という街の奥深さをみる事ができる。

A 旧駄菓子屋

昔駄菓子屋さんだった古屋さん宅に残る看板。おばあちゃんに「いつごろまで店を開いてたの？」と聞くと「そんな事は忘れたけど、うちは天井が面白いよ。」と中に入れてくれた。

天井にはおばあちゃんのお父さんが描いたという花の絵があった。さすが趣味の人が多い駒形通り。ふと振りかえると駄菓子屋時代のなごりか、なんとなつかしの「マグマ大使」のポスターが…。



駿河町通り

駒形通二丁目



昭和元年創業
和服小川



きんつば山城屋

The Komagata Street

浦田宝扇堂版画舗



県文化奨励賞など数々の賞を受賞している芸術家でもある。

浮世絵というのは絵師、彫師、摺師の分業のもとに1枚の作品が製作される。

ところが浦田氏は、江戸時代からの技法を知り尽くし、一人で全ての工程を行い創作する。故郷静岡や寺社を題材にしたものから人物まで作品は幅広い。職人であり芸術家である浦田氏の作品は、人々の心を魅了し続けるであろう。



浦田周社・木版画「さかゆく春」2000 380x275%

宝扇堂

浮世絵が、今のように珍重されていなかった戦前・戦後、浮世絵職人たちは軍人旗や扇子を作り生計を立てていたという。当時、宝台院の側にあったことに由来する「宝扇堂」は、昭和27～28年頃、5代目儀一氏の時に駒形へと引っ越し、木版画等を販売するようになった。

また、江戸時代の浮世絵の版木も数多く保有しており、現代にその美しさを蘇らせている。

浦田周社氏

その宝扇堂の現在の店主であり、「版隈6世」として浮世絵の技法を伝承しながら、独自の創作木版画に取り組んでいるのが浦田周社氏だ。

文化庁認定重要民俗文化財選定保存技術保持者という肩書だけではなく、静岡



駒形界隈

路地裏散策



駒形通りは、昭和の初めに七間町通りと二直線につながりましたが、七間町とはまったく違った雰囲気をもっているように思います。

ひと昔前には、七ぶらという言葉がありました。若い頃映画を見て、七間町をぶらぶらした後、駒形通りまで足をのばすと、なぜか家に帰ってきたようななつかしさを感じたものです。

老舗と静岡三元気な商店街、いきいきとした生活感といまだに残る下町情緒、様々なものが渾然と立ち並んだこの通りは、飾らず、何もかも見せてしまっているようで妙に人をホッとさせます。

市長さんの寄り道



This is the Komagata Street

ときわ通り

市立新通小学校

至七間町

駒形今昔

ロマンス街に向かっ
て左隣(現駐車場)に
は、「大静座」とい
う芝居小屋があつたそ
うだ。昭和27、28年
頃の話で、股旅もの
等の芝居がかかってい
たそうだが、小屋は3
年程でなくなり、そ
の後は「駒形劇場」と
いう映画館になった。

看板あれこれ B ロマンス街

ロマンス街の両サイド、アーケ
ードの上にそびえる石の壁にある
不思議なマーク。

通りに住む人に由来を聞いても、
「歓楽街の入り口を表してるんじ
ゃないか」とか「市場のマークだ
った」とか定かでない。しかも存
在することすら知らない人が多い
「駒形の謎」。



9月のお祭り

駒形神社

平安朝中期、陸奥(現岩手
県)の駒形神社の分霊を勧
請して、「川野辺」の地の守
護繁栄を願って祀ったのが始
まりといわれている。

一説には、大川村栃沢産
の名馬「磨墨」が蹄の跡を残
したといわれる馬蹄石を御神
体として祀ったともいう。

昔は、松、杉が繁り、「駒形
の森」と呼ばれていた。



ロシア料理 カーシャ



純喫茶 リーベ

純喫茶という言葉もなつかしい
感じ。スキー連盟の事務所にも
なっています。



エビス屋

学校指定上履の表示に地域と
密着感が感じられます。



今井質店



藍道楽



キムチ



駒形交番

ロマンス街

駒形神社

C

The Komagata Street

The Komagata Street

駒形通二丁目



辰巳タクシー

C



タタラド

駒形通二丁目

タタラド



写真の話には真剣に言葉を選んで語っ
てくれた多々良さんだが、駒形通りの話にな
ると途端饒舌になり、引越してきた時、挨拶
した人に「ずっと見張ってた」と言われた
奇妙な体験も話してくれた。それでも、多々
良さんは駒形通りがとても好きだそう。駒
形通りは人をなごませる雰囲気がある。食



石ヶ谷そば店

大きな器にびっくり。そば会席もある、
静岡の有名店。



桜湯

川辺石ヶ谷本店

E

看板あれこれ E 前田精肉店



揚げたてコロケのおいしい前田精肉店。
アーケードの上を見ると、りっぱな石の
看板が…。文字は右から横書きだ。

駒形通三丁目

中古カメラ屋タタラドの多々良栄里さんは、
4年前から本格的に写真を撮り始めた。おばあ
ちゃん劇団ほのおや酒米づくり等のドキュメ
ンタリー写真を撮りつづけ、今年「土門拳文
化賞奨励賞」「視点奨励賞」を受賞した。

「写真は1秒の何分の1を切り取ったもの。
瞬間、瞬間に反応してシャッターを押すのは、
本能的な作業、撮った写真に今、自分が何
を感じているか知らされることもあります。書
くことでは言葉にできないことも写真なら語
れる、リアリティのある写真を撮りたい。」

欲に生活する人達がいっぱい、何でも受
け入れる懐の深さがある」という。



多々良さんのホームページでは「ご近所」
と題した駒形通りの写真をみることができる。
<http://homepage1.nifty.com/tatarado/>

市立新通小学校

新通公園

灌漑用水



円筒の穴

駒形今昔

かれこれ30年程前までは
現在の桜湯、石ヶ谷本店前
あたりには川が流れ、家に入る
にも橋を渡って入ったそう
だ。現新通公園辺りに床光つ
あんと呼ばれる床屋さんが住
んでいて、その家の前には池
があり、水がさんざん流れ込
んで、子供は危ないから近寄
るなど言われる程だった。そ
の水はお浅間さんから流れ
込み、新川の方まで流れあ
り、田んぼの灌漑用水とし
て使われていた。
今は暗渠となっているが、
円筒の穴の下を流れる水は
その名残だ。
ちなみに、床光つあんは、家
の前の池で鵜を飼っており、
現辰巳タクシー横には、水車
も回っていたそう。

This is the
Komagata
Street

この辺りに床光つあんがあった。

This is the Komagata Street



下駄職
佐野成三郎さん宅



まるよし陶器店



肉屋の老舗
永田精肉店

今年オープンした
複合商業施設
駒形スクエア



駒形公園



画廊スナック
WAKAKOMA



スナックといえば、ちょっと暗い雰囲気...といったイメージがあるが、ここ「WAKAKOMA」はスナックと画廊が一緒になっている不思議な空間だ。店主である望月慎一さんは、本業は鎌倉彫で小物や家具を製作する工芸家。県工芸家協会にも所属し、数々の展示会に入賞の経歴を持つ。望月さん自身

が東京銀座で展示会を開いたとき、アフター5に見に来られるお客さまが多かったことから、仕事の後、お酒を飲みながらゆっくり芸術に親むお店があってもいいのでは...ということで8年前に開店したそうだ。県美術家連盟の方々の作品を中心に2カ月のサイクルで展示・販売が行われている。

また、望月さんは浅間神社のお祭でおなじみの「若駒会」のメンバーでもある。お祭以外のおめでたい席でもお囃子、獅子舞、木遣りなどを披露している。鎌倉彫で作られた自作の横笛をふき、後輩の育成にも力を注いでいる。お店には「若駒会」にちなんだ作品も置かれ、来た人々の目を楽しませてくれている。



G H

The Komagata Street

The Komagata Street

静岡のお台所市場 1234

- 1 フレッシュあさはら
- 2 ニッショク
- 3 こまがた市場
- 4 サンプルーツもちづき



年中安売宣言の言葉どおり、安くして活気のある食材市場。最近ではTVでも紹介され有名になった、駒形の元気スポット!

キムチ

駒形通三丁目

鷺津商店

人参とかかれた色とりどりのボン菓子がなつかしい鷺津商店。あざやかな原色は駄菓子のお約束、その色に魅せられて、つい小使いをはたいてしまったものだ...



エスニック食材店
BAHAY KUBO

駒形通四丁目

駒形通五丁目



お好み焼 鈴木

アイドルのポスターも駄菓子屋らしい「お好み焼 鈴木」。左はしのゲーム機はチャンスラー。10円入れて、フォークでラムネを掴むゲーム。静岡に一台しか残っていないとか...

稲荷神社
双街の碑
卍



駒形通六丁目



F



G



H



駄菓子屋さん

駒形通りからも駄菓子屋はかなり減ってしまった。それでも、昨今、ビルやデパートの中にできたレトロ感覚を売る駄菓子屋ではなく、かつて子供の社交場だった正統派駄菓子屋をみつけることができる。



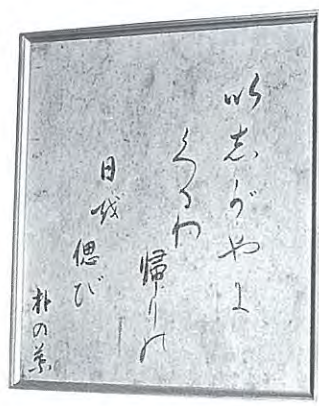
とにかく人が多い「めっちゃ安」を求めて遠くからもお客様がくる。



二丁町の
あった
エリア

静岡県地震
防災センター

遊廓



川辺石ヶ谷本店に残る色紙には
廓の歌が詠まれている。
当時の二丁町の様子が描かれている
浮世絵も同店に飾られている。



二丁町のかげろう

現在の駒形通五丁目、しあわせ通りをはさんで、安倍川公園、地震防災センター、中部電力社員寮、静岡県交通管制センター辺りが、二丁町があった場所だと思われる。

この周辺に酒屋が多いのも、二丁町へお酒を卸していたためらしい。新しい娼妓が入ると、枕元に置く水差し、コップスタンドなどのガラス製品や酒器、茶器などの瀬戸物などが取りそろえられた。硝子屋や瀬戸物屋が多いのも名残であろうか。

子どもの頃の記憶をたどりながら古参がポツリポツリと語りだした。

「安倍川に泳ぎに行くのに二丁町を歩いて行った。木造の二階建ての建物が並び、昼間は格子に着物がズラッと干してあったなあ。大体は和風の木造の建物で格調高く、圧倒されるような感じだった。映画の『吉原炎上』かなんかに出てくる吉原の町並みにそっくりだったよ。子どもが遊びに行く時間は、まだ二丁町は夜が明けていない。眠いような気怠い雰囲気が漂っていた。ところが、子どもが家に帰る午後3時か4時頃になると町はガラリと変わるんだ。打ち水とかしてキリッとしてね、これからお客を迎えるって感じになる。お客と娼妓が格子越しに話をしている、商談がまとまると玄関から入っていった。お客もね、ただ目的を果たすだけでなく、町そのものの雰囲気を楽しんで

いるようだった。秩序はあるんだけど、暗くて排他的な感じがして、子ども心にも異様な感じがしたのを覚えているよ。」

ある人が言った。「駒形通りには甘辛、両方の顔があるんだ。」

時代の中でいろいろな表情を見せてきた駒形通り。二丁町の面影は、今もなおかげろうのように、この町に見え隠れする。



二丁町の守護神として大切にされてきた稲荷神社。



「双街記念碑」



二丁町の歴史

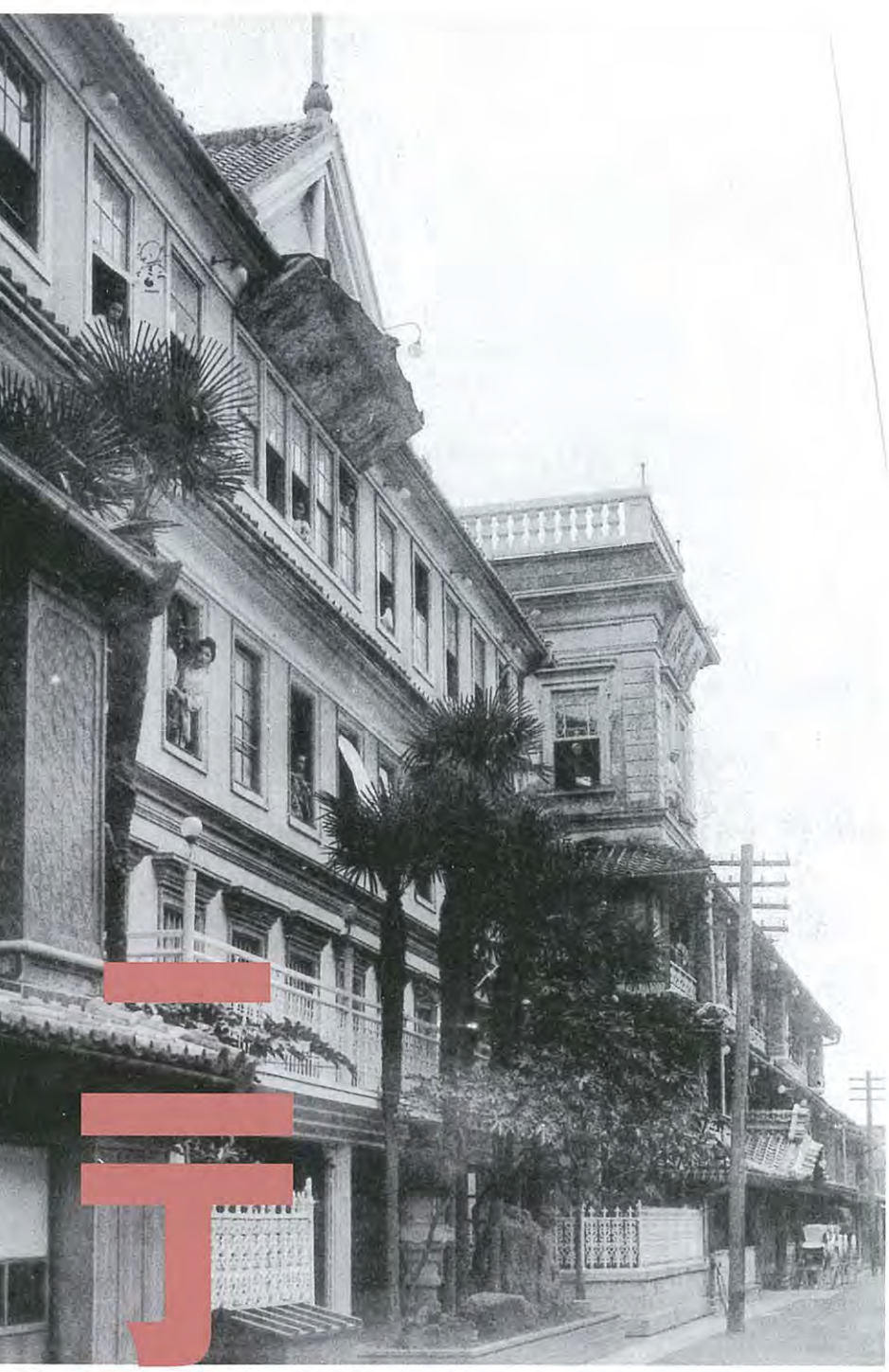
戦乱の世に終焉を迎えたばかりの慶長年間(1605年頃)、徳川家康公に従って京都伏見から駿府へやってきた鷹匠の伊部嘉右衛門という者が、家康公から安倍川近辺に約1万坪の土地を貰い受け遊廓を造った。これが二丁町の始まりである。

当時駿府城修築のために各地から集まった職人役夫により駿府城下は繁栄し、駿府官許の遊廓も府内にあったという。ところが風俗の乱れを危惧した家康公が遊廓を府外へ移すことを命じた。これを受け、伊部嘉右衛門が自らも伏見屋という店を開き、広大な遊廓を安倍川近辺に造ったのである。この地を選んだ経緯については、千人塚という駿府キリシタンの処刑場跡がここにあり、それを忘れたがために、家康公が華やかな花街を造ろうとしたともいわれている。

二丁町は、始め七丁の広さがあったらしい。そのうちの五丁が元和年間(1615年頃)に江戸に移され、かの有名な「吉原遊廓」となった。残った二丁が「二丁町」として、静岡大空襲で焼失するまで、静岡の夜の顔を彩っていたのである。

明治時代になると、伝馬町の宿屋が遊女屋を始めたが、すぐに廃止となった。その中の蓬萊楼、初音楼、伏見楼が二丁町へ移って営業を続けたが、伏見楼は、客と遊女との心中が度々あって廃業となってしまった。蓬萊楼は、ハイカラを売り物にして戦前まで繁盛したようである。洋館の中に数多くの洋間を持ち、英語名の源氏名を付けた花魁が常時50~60名いたという。また、明治9年には、芸娼妓の教育を目的とした「女紅場」という学校も作られた。当時、娼妓は貧しい農村から生活苦を救うためにきた者がほとんどであり、この学校では、彼女たちに読み書きのほか、裁縫、生け花、和歌、絵画などを明治30年頃まで教えていた。明治時代は、毎晩花魁道中が繰り広げられ、二丁町が一番妖艶な輝きを放っていた時代でもあった。

不夜城として君臨した二丁町も、第2次世界大戦により陰りを落とすこととなる。娼妓たちが軍需工場に動員されるなど、遊廓として成り立たなくなった二丁町は昭和20年の静岡大空襲により完全に姿を消してしまったのである。



駒形通五丁目の地震防災センターの横にある稲荷神社は、かつて遊廓の守護神として祀られていた大鳥神社の名残である。今もひっそりとたたずむ「双街記念碑」だけが、ここに東海道有数の遊廓、「二丁町」があったことを物語っている。

二丁町物語

How to try GETA

TRY:1

下駄を履いて歩いてみよう。

下駄を履いて歩くと、まず、鼻緒で指が広がる。そして歯があるため、歩くと爪先からの返しがある。つまり、踵から爪先の順で地面に足がつく理想の歩き方ができる。

これが、血液の循環を良くして、足のむくみをとってくれる。

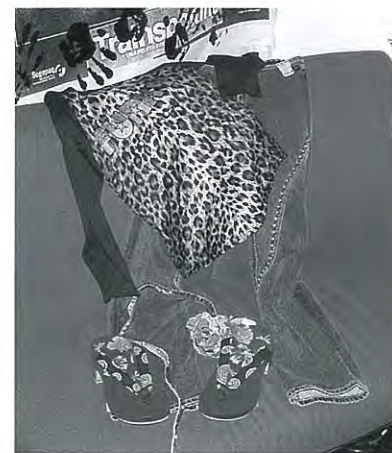
下駄を履いた人は皆、足が温かいと言い、むくみがとれたと言う。

TRY:2

洋服に下駄を履いてみよう。

美しく加飾のほどこされた下駄だったら、浴衣やGパンに合わせるだけでなく、こんな着こなしができるのでは？

PATTERN ②



ビスのついたGパン、アニマル柄のTシャツにはワインカラーに蜘蛛や銀杏が描かれた下駄を合わせる。ハードさがぐずれて違ったかっこよさが現れる。

PATTERN ③



黒のパーカーと布の切り替えがあるデニムのスカートには、紫の地にあでやかな百合の描かれた下駄を。

「基本的には、下駄をシンプルなものに合わせて、敢えて着くずしてみるのが良いのでは」とのこと。

下駄と洋服、新しい着こなしにTryしてみては？

静岡と下駄の運命的な関係

「下駄」のルーツを辿れば登呂遺跡から発掘された「田下駄」にいきつく。もちろん田下駄は水田を耕作する用具であるから、履物とはいえないが、現在の下駄の原型ともいえる二本歯のものも出土しており、下駄と静岡の関係は、古墳時代からはじまることおよそ2000年ということになる。

下駄は、日本の気候(ぬかるみ)に適応し、徳川時代に入るまで、その形にほとんど変化がなかったが、元禄以降には大きく発達し、東海道の中心にあった静岡には、江戸・京・大阪の流行が早く伝えられ、いろいろな履物が作られた。

そして、時は明治にいたり下駄の世界にヒーローが登場する。下駄作りで一生涯を捧げた男・本間久次郎、人呼んで「下駄久」である。「下駄久」は、嘉永6年(1853)静岡市平屋町に生まれ、下駄職・本間常七の養子となり、修行をかさね、明治中頃に焼杉下駄、塗り下駄を完成させた。もともと静岡は漆器の産地で、その漆技術と下駄を結びつけて、静岡の下駄が全国を風靡する先駆けを作ったのである。

塗り下駄はその後、江尻の下駄商三島屋の手腕で爆発的に売れることになった。「下駄久」を偲び、三島屋ら下駄業者によって建てられた「下駄久」の碑は、現在も大鋸町の玄忠寺にある。

下 馬 太

GETA

歯があるせいか、
何となく笑っているような
愛嬌のある履物「下駄」。
明治から昭和の初めにかけて、
駒形通り周辺には、
下駄職にたずさわる人たちが
たくさん住んでいた。



師匠：佐野成三郎さんの作品
東海道の宿場が描かれている。



佐野成三郎さん作品

下駄が特産品の静岡では、夏ともなれば、下駄の展示即売会が各所で行われる。その展示会場で花や動物、果ては東海道の宿場の絵まで色鮮やかに描かれた下駄が目を引き。

木地呂塗りをベースに絵柄を書き、木目をいかしたこの塗り下駄は、駒形公園の近くに住む下駄職・佐野成三郎さんの作品だ。

この下駄に惚れ込み1年程前に佐野さんに弟子入りしたのが鈴木千恵さん、下駄の世界には珍しい20代の女性だ。もともとは靴メーカーでデザインの仕事をしていたが、営利が優先する企業を飛び出し、もっと勉強しようとヨーロッパへ靴の学校を探しに……。そこには、TATAMIやZENと題されたジャパニーズテイスト

のものがたくさんあり、それを見た瞬間「よし、それじゃあ外国のものを日本のものに取り込んでみよう」そしてなぜか「下駄だ!」と思ったのだそう。



下駄久の碑

日本に帰り、展示会場に押しかけて、弟子入りをお願いするが、最初はお決まりのとおり断られ、他で働きながら週1回の勉強ということで許可がおりる。

「これから下駄の世界はきびしい、いかに自分だけのものを作れるかだ。」と師匠の佐野さんは言う。鈴木さんの下駄には、外国での体験どおりアルファベットがデザインされたものもあり、若さと女性の感覚を感じさせる。

「将来は、インターネットを通じて世界中の人に履いてもらえる下駄を作りたい」そ

んな鈴木さんの言葉に佐野さんが「これなんかGパンにあわせたら、すごくかっこいいよ。」と青と紫の地にうさぎが描かれた下駄を指さした。確かに、下駄は浴衣にあわせるものと決めてしまえば、おもしろくない。Gパンに下駄、ラフでとても良い。そしてラフだけど、きれいな柄が足元からチラチラ見え、脱いだ瞬間に鮮やかな絵が目に入るなんて粋だと思う。「日本から下駄と畳はなくなるならない」それ以上に下駄が世界中の人に履かれる、そんな夢を二人の下駄はみせてくれる。



鈴木千恵さん



鈴木千恵さんの作品
アルファベットのデザインが...



鈴木千恵さん(左) 佐野成三郎さん(右)

下駄は佐野さんの作品
衣装提供・コーディネート:ブティックErotic(七間町松風堂ビル内)

2000

開催日	お問い合わせ先	会場	タイトル
10月6日(金)～11月12日(日)	静岡アートギャラリー	静岡アートギャラリー	高村光太郎の書 智恵子の紙絵 (大人 300円/小人 150円)
10月7日(土)～1月21日(日)	芹沢銈介美術館	芹沢銈介美術館	「世界の陶器」同時開催 芹沢銈介作品展 (大人 410円/学生 250円/小人 150円)
10月21日(土)～11月12日(日)	児童会館	児童会館	たんけん! 水がつくった世界遺産
10月25日(水)～11月1日(水) (28日・29日は除く) 13:00～	文化振興財団	市役所新館 1階ラウンジ	Hot ひといきコンサート(無料)
11月8日(水) 19:00～	静岡音楽館AOI	静岡音楽館AOI	J.S.バッハ没後250年記念I 音楽の捧げもの (全指定 4,000円/大学生以下 3,000円)
11月18日(土) 13:00～(予定) (雨天の場合19日(日))	文化振興財団	青葉 シンボルロード	ストリートフェスティバル・イン・シズオカ(無料)
11月21日(火)～11月24日(金) (23日は除く) 13:00～	文化振興財団	市役所新館 1階ラウンジ	Hot ひといきコンサート(無料)
11月23日(木・祝) 15:00～	静岡音楽館AOI	静岡音楽館AOI	P&P 高橋アキとエッセンシャル・ミュージック (全自由 3,000円/大学生以下 2,000円)
12月2日(土) 9:00～	文化振興財団	市民文化会館 大ホール	第22回市民芸能発表会(無料)
12月3日(日)	児童会館	児童会館	大型サイエンスショー(申込み受付 11/18(土)～11/26(日))
12月10日(日) 16:00～	静岡音楽館AOI	静岡音楽館AOI	J.S.バッハ没後250年記念II 口短調ミサ (全指定 4,500円/大学生以下 3,500円)
12月10日(日) 14:00～(予定)	市文化振興課	グランシップ 大ホール	静岡県100年音楽祭(有料)
12月12日(火)～12月15日(金)	文化振興財団	市役所新館 1階ラウンジ	Hot ひといきコンサート(無料)
12月23日(土)	児童会館	児童会館	児童会館手作り工作コンテスト (申込み受付11/17(金)～12/10(日))

2001

2月3日(土)～6月24日(日)	芹沢銈介美術館	芹沢銈介美術館	「芹沢銈介 のれん」展 (大人 410円/学生 250円/小人 150円)
2月4日(日) 16:00～	静岡音楽館AOI	静岡音楽館AOI	ジャズ・ガラ ピアニスト大競演 (全指定 5,000円/大学生以下 4,000円)
2月22日(木) 19:00～	静岡音楽館AOI	静岡音楽館AOI	ユーリー・バシュメット&モスクワ・ソロイスト合奏団 (全指定 5,000円/大学生以下 4,000円)
3月22日(木) 19:00～	静岡音楽館AOI	静岡音楽館AOI	ベルリン・フィル木管五重奏団 (全指定 4,000円/大学生以下 3,000円)
3月31日(土) 15:00～	静岡音楽館AOI	静岡音楽館AOI	合唱「21世紀へのメッセージ」《木々のうた》 (全指定 4,000円/大学生以下 3,000円)

文化振興財団 054(255)4746 静岡音楽館AOI 054(251)2200 静岡アートギャラリー 054(289)5400
 芹沢銈介美術館 054(282)5522 児童会館 054(252)6161 市文化振興課 054(221)1024

レール空気が



仕事です。

快適ス・テ・キ創造カンパニー

RYOWA 菱和設備株式会社

静岡市清閑町14-5 ☎054(254)8321(代)
静岡・東京・横浜・沼津・浜松



参考文献 ●『町名の由来』 飯塚伝太郎著 長倉智恵雄補筆 静岡新聞社

- 『静岡市の百年(明治)』 山内政三著 静岡市百周年記念出版会
- 『お茶の実』 財伊豆屋伝八文化振興財団女性史講座生著 財伊豆屋伝八文化振興財団
- 『新通小学校創立70周年記念誌』 静岡市立新通小学校PTA
- 『静岡市産業百年物語』 静岡商工会議所

From Editor

編集後記

- ◆新しいもの・古いもの・不思議なものがいっぱい! 怪しくて楽しい駒形通りでした。
- ◆インタビューをしていると、辛口な一言が返ってくる。けれど、それは温かさの裏返しなんだなあ…。
- ◆皆様がお持ちの情報をもとに取材をしたいと思います。ご意見・ご感想・情報をドンドンお寄せください。

静岡文化情報「街かど」第16号

●発行(年2回)

平成12年10月

●編集・発行

財静岡市文化振興財団

〒420-0031

静岡市呉服町二丁目1-1 札の辻ビル6階

TEL 054-255-4746/FAX 054-653-3501

e-mail:bunshin@chabashira.co.jp

●印刷

株式会社バビア中央

静岡市中野新田315番地の2

Good Relation Between Human And Office

人とオフィスのよりよい関係

栗田商会と聞くと皆さんはなんの会社だと思いますか。鉛筆やノードを売っている文房具屋さん？
いえいえ、それだけではありません。

株式会社栗田商会は、事務用品からOA機器や、オフィス家具まで幅広く手がける事務機器の
総合商社です。事務用品はもちろん、オフィスレイアウトからLAN構築まで、家庭やオフィスでの
皆さんの生活を一杯サポートします。

株式会社栗田商会は21世紀にむけて「人とオフィスのよりよい関係」を創造します。

 **KURITA**

株式会社栗田商会 静岡支店

〒420-0042 静岡市駒形通6-7-1

TEL 054-252-1211 FAX 054-255-3200

e-mail: krsi03@carrot.ocn.ne.jp

ガ
闘
走。

静岡競輪場

開設48周年記念競輪 2/3・4・5・10・11・12

SAT SUN MON SAT SUN MON

場外発売

電番 38#